

県内の農場で豚丹毒が散発 ワクチン接種で損耗防止を！

養豚農家の皆さんへ

最近、各地で豚丹毒の発生が目立っています。

豚丹毒は、多くの農場でワクチン接種によりほぼ制圧されていた疾病でしたが、近年はワクチンの非接種農場の増加により、各地で散発的に発生しています。

豚丹毒菌は環境に常在する菌です。

知らぬ間に、豚丹毒菌が農場内の豚や土壌などの環境を汚染している場合がありますので、注意が必要です。

原因:

豚丹毒菌の感染によって起こります。

本菌は土壌、汚水など、環境に広く分布し、また木乳類や鳥類等にも分布しています。

感染豚の尿や糞便中に大量の菌が排泄され、汚染源となり、経口感染や創傷感染を起こします。

症状:

急性敗血症型は、

40度以上の高熱が突発し1～2日の経過で急死する。

蕁麻疹型は、

発熱や食欲不振などの症状に加えて、感染1～2日後に菱型疹と呼ばれる特徴的な皮膚病変を示すが、致死の経過をとることは少ない。

慢性型は、

通常、急性型や亜急性型に引き続いておこることが多く、関節炎の場合、四肢の関節に好発し、腫脹、疼痛、硬直、跛行が見られる。心内膜炎の多くは無症状で、剖検で発見される。

県内での発生状況:

平成19年次: 真症 0頭、疑症 0頭

平成20年次: 真症 0頭、疑症 2頭 (食肉衛生検査所での摘発)

平成21年次: 真症 0頭、疑症 1頭 (同上)

平成22年次: 真症19頭、疑症 1頭*

※ 平成22年次は、食肉衛生検査所での摘発以外に
県内農家での発生がみられています。

症状の写真:



発熱、食欲不振、歩行困難



菱形疹(皮膚病変)



関節の腫脹、頭痛、跛行

予防・治療:

予防には、**生ワクチン、不活化ワクチンの接種**

治療には、**ペニシリン系抗生物質**が極めて有効

注目

豚丹毒ワクチンは、接種技術料込みで
1頭200円です。
(社)山梨県畜産協会へ申し込んでください
055-222-4004

豚舎を清潔にし、豚にストレスを与えない飼養環境を作りましょう

家畜が**異常な症状**を示したり、**原因がわからず死亡**した場合には、
家保健衛生所にご相談下さい!

病性鑑定を依頼し、原因を究明しましょう!!

西部家畜保健衛生所 TEL:0551-22-0771(平日)

090-5568-0817(土日・休日・夜間)

090-5564-1018(土日・休日・夜間)